

科目名（英文表記）	<p style="text-align: center;">ビジネスシミュレーション (Business Simulation)</p>		
科目区分	基礎科目	単位数	2 単位
担当教員名	堺 昌彦 芝 香（非常勤講師） 椎名 希美（非常勤講師） 谷 祐児（非常勤講師） 渡部 奈穂（非常勤講師）	ナンバリング	MBA_C_GM 5211
研究室番号	(堺) 4 4 4	研究室電話番号	(堺) 2 7 - 5 3 5 2
Eメール・アドレス	(堺) msakai@res.otaru-uc.ac.jp (芝) sibakao@gmail.com (椎名) n.shiina@project-k.co.jp (谷) y_tani@asahikawa-med.ac.jp (渡部) naho.watanabe@event-stylez.jp		
授業の内容及び方法： 次頁以降に記載			
<p>授業の目的：</p> <p>ビジネスはいかなるものであれ、多種多様な取引を通じて実行され、取引はすべて会計記録の形で記録され、決算を通じて、1年間の経営成績と決算日における財政状態を資本主に報告し、次年度の経営者の地位を承認してもらわなければならない。ビジネスと外部間の取引は市場を通じて行われるが、材料仕入と製品販売は、熾烈な競争市場を通じて行われる。</p> <p>本授業の目的は、製造業というビジネスの基本的な形態における外部取引と製造活動という内部取引を、戦略MGというシミュレーションゲームで繰り返し、かつ、会計記録を行い、財務諸表を作成するというビジネスそのものを擬似体験することである。戦略MGの性質上、シミュレーションを繰り返すことが肝要であり、本講義では2回のシミュレーションを行う。</p>			
<p>到達目標：</p> <p>本科目では、あらゆるビジネスに通じるマネジメントの基本的な考え方を理解するとともに、基本科目で学ぶ戦略、マーケティング、財務の知識を活用したビジネスシミュレーションによる戦略的な意思決定を自ら実践し体験することで、以下の到達を目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①実践科目や発展科目の履修に向けた基本科目知識の応用能力を身につけること。 ②財務諸表を分析し、戦略の立案に活かす基本的なスキルを身につけること。 ③新規事業の担当者、ベンチャー企業の創業者、及びこれらの支援者として必要な利益志向による意思決定スキルを身につけること。 ④限られた時間や資源の中で、戦略を立案し、実行結果を分析し、さらなる戦略の立案に活かす一連のPDCAサイクルを実践する能力を身につけること。 			

使用教材：

教科書は特に指定しないが、資料はその都度配付する。

参考書：西順一郎監修，協和発酵工業株式会社著『人事屋が書いた経理の本—MG から生まれた戦略会計マニュアル』ソーテック社，1978年。

なお，ゲームは，本学所有の戦略 MG®（戦略 MG 研究所）を使用する。

成績評価の方法：

下記の評価項目を総合して評価する。

- ・出席 10%
- ・授業への参加度 10%
- ・レポート 80%

課題の締切後の提出は評価を 0%にする。

評価に不服のある場合には、不服申立書を以て、教務委員長に申し出ること。

履修上の注意事項：

- ・「アカウンティング I」（基本科目）を履修済みのこと。
- ・ 授業方法の性質上，遅刻は厳禁。

授業の内容及び方法

モジュール 1		第1回シミュレーション前半
事前準備	すでに学習した財務諸表とバリューチェーンをよく復習しておくこと。	
第1時限	シミュレーションの概要と第1期シミュレーション	
	シミュレーションの目的と方法の概略を説明し、慣れるために第1期のシミュレーションを行う。	
第2時限	第1期決算と第2期シミュレーション	
	第1期シミュレーションで記録した会計データから財務諸表を作成する。その後、第2期期首の準備を踏まえて第2期のシミュレーションを行う。	
第3時限	第2期決算と第3期シミュレーション	
	第2期シミュレーションで記録した会計データから財務諸表を作成する。その後、第3期期首の準備を踏まえて第3期のシミュレーションを行う。	
第4時限	第3期決算と経営計画の講義	
	第3期シミュレーションで記録した会計データから財務諸表を作成する。そして、経営計画の立て方の講義を受け、第2モジュールの準備課題の作成方法を習得する。	
復習	シミュレーションのルールを再確認する。	

モジュール 2		第1回シミュレーション後半
事前準備	第4期の経営計画を所与の様式にて作成し、授業に持参する。	
第5時限	経営計画の発表と第4期シミュレーション	
	準備課題で作成した経営計画を発表し、第4期のシミュレーションを行う。	
第6時限	第4期決算と第5期シミュレーション	
	第4期シミュレーションで記録した会計データから財務諸表を作成する。そして、第5期期首の準備を踏まえて第5期のシミュレーションを行う。	
第7時限	第5期決算と株主総会の準備	
	第5期シミュレーションで記録した会計データから財務諸表を作成する。そして、第5期の業績について株主に口頭で報告するための準備を行う。	
第8時限	株主総会と振り返り	
	第5期の業績について株主総会の形で口頭にて報告する。	
復習	原価・営業量・利益の関係について、シミュレーションの内容も含めて所与の様式にてレポートを作成し、E-learningに提出する。	

モジュール 3		第2回シミュレーション前半
事前準備	M2の事後課題の内容を踏まえ、ルールの再確認と経営計画を立案する。	
第9時限	原価・営業量・利益の関係	
事前課題として作成した経営計画に基づき、原価・営業量・利益の関係について、履修者にプレゼンテーションをしてもらう。		
第10時限	第1期シミュレーションと決算	
ルールを確認するために第1期のシミュレーションを行い、そしてシミュレーションで記録した会計データから財務諸表を作成する。		
第11時限	第2期シミュレーションと決算	
第2期期首の準備を踏まえて第2期のシミュレーションを行い、そしてシミュレーションで記録した会計データから財務諸表を作成する。		
第12時限	第3期シミュレーションと決算	
第3期期首の準備を踏まえて第3期のシミュレーションを行い、シミュレーションで記録した会計データから財務諸表を作成する。		
復習	第4期の経営計画を立てる。	

モジュール 4		第2回シミュレーション後半
事前準備	第4期の経営計画を所定の様式にて作成し、授業に持参する。	
第13時限	経営計画の発表と第4期シミュレーション	
準備課題で作成した経営計画を発表し、第4期のシミュレーションを行う。		
第14時限	第4期決算と第5期シミュレーション	
第4期シミュレーションで記録した会計データから財務諸表を作成する。そして、第5期期首の準備を踏まえて第5期のシミュレーションを行う。		
第15時限	第5期決算と株主総会の準備	
第5期シミュレーションで記録した会計データから財務諸表を作成する。そして、第5期の業績について株主に報告するための準備を行う。		
第16時限	株主総会と振り返り	
第5期の業績について株主総会の形でスライドを使いながら報告する。		
復習	第2回のシミュレーションのうち、第2期から第5期までの財務諸表を作成し、また、財務諸表分析を行い、株主総会資料とともに最終課題としてまとめ、E-learningに提出する。	